

令和2年度
事業計画

社会福祉法人 東桜会

《社会福祉法人東桜会の理念等》

〔法人の目的〕

私たちは、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として事業を行います。

〔施設運営理念〕

法人の目的を達成するため、公平で公正な開かれた施設運営を永続し、地域の拠点施設となるように努めるとともに地域福祉の向上に資するよう努めます。

〔施設運営方針〕

利用者の多様なニーズに応えられる職員を育成し、利用者が、生きがいを持ち明るく快適な生活ができる住環境の整備に努めます。

〔サービス提供理念〕

利用者一人ひとりのニーズと意思を尊重した質の高いサービスを提供し、利用者の生活の質の向上を目指すとともに、利用者の自立を目指し、利用者と共に生き、利用者の回復を目指します。

〔サービス提供方針〕

サービスの利用を希望する人たちが、利用者自らが受けられるサービスを選択し決定できる環境を作るとともに、利用者の残存能力を発見し、引き出し、活用ができるような環境を作ることに努めます。

《社会福祉法人東桜会 令和2年度事業計画》

〔1〕基本方針

1. 法人・施設の中・長期計画の策定に取り掛かる。
2. 法人の理念、施設運営方針等について再確認し、表現方法等を検討する。
3. 働きやすい職場環境を目指し、職員の採用、定着に努める。
4. 地域に存する社会福祉法人として、地域の様々な団体組織・人々と連携して地域に貢献する。

〔2〕経営施設及び事業の種類

1. 指定を受けた介護保険事業（介護予防・日常生活支援総合事業を含む）を経営する
 - (1)介護老人福祉施設 麻機園
 - (2)短期入所生活介護事業 麻機園
 - (3)地域密着型通所介護事業 麻機園デイサービスセンター
 - (4)訪問介護事業 麻機園ヘルパーステーション
 - (5)居宅介護支援事業 麻機園ケアプランサービス
2. 社会福祉事業として次の事業を行う
 - (1)軽費老人ホーム ケアハウス桜花
3. 静岡市から委託を受けて次の事業を行う
 - (1)要支援、要介護認定の訪問調査を行う（麻機園ケアプランサービス）
 - (2)静岡市高齢者一時保護施設確保事業を行う（短期入所麻機園）
4. 地域包括支援センターから委託を受けて次の事業を行う
 - (1)介護予防プランの作成

〔3〕地域社会に貢献する取組み・地域交流等

地域社会に貢献する取組みとして、平成29年度から実施している施設を開放した地域住民へのサービス（さくらカフェ）を継続すると共に、更に地域の団体組織・人々と連携して地域に貢献し、福祉の向上を目指す。

- ・地域の老人会でレクリエーション、介護講座等の支援を行い介護予防活動のサポートをする。
- ・地域の催事や訓練へ参加し、地域とのつながりを深める。
- ・在宅高齢者の自宅を訪問し、介護相談を受け必要に応じ地域資源や公的サービス等に繋げる。
- ・社会交流や外出の機会が少ない男性高齢者に、ボランティア活動を通し得意なことを活かせるような生きがい支援策計画する。
- ・放課後こども教室実行委員会と連携し、地域住民と子どもたちが触れ合い一緒に楽しく活動の機会が持てるようにサポートする。

〔4〕評議員会、理事会の開催予定

- | | | |
|---------|-----|--------------------------|
| ①監事監査 | 5月 | 令和元年度事務事業及び決算の審査 |
| ②第1回理事会 | 5月 | 令和元年度事業報告、決算及び定時評議員会予定など |
| ③定時評議員会 | 6月 | 令和元年度決算認定 |
| ④監事監査 | 10月 | 令和2年度期中監査 |

- ⑤第3回理事会 10月 令和2年度補正予算、事務事業の報告等
 - ⑥第1回臨時評議員会 10月 令和2年度補正予算承認 ※補正予算がある場合
 - ⑦第4回理事会 12月 事務事業報告等
 - ⑧第5回理事会 3月 令和2年度補正予算及び令和3年度事業計画、予算次期役員評議員候補者の選定など
 - ⑨第2回臨時評議員会 3月 令和2年度補正予算及び令和3年度事業計画、予算承認
- ※予算又は事業計画等に係る議題のあるときには臨時に理事会、評議員会を開催する。

[5] 建物・設備の修繕・改修等の予定

麻機園及びケアハウス桜花の建物本体及び付属設備、設備・備品等の経年劣化の著しい箇所について大規模な修繕又は改修等を計画・予定するとともに、職員の業務軽減に資する設備・用具等の導入を検討する。

1. 特別養護老人ホーム麻機園

- ①受電設備改修修繕等
- ②空調設備の更新修繕等
- ③電話設備更新
- ④厨房機器・設備更新
- ⑤エレベータ、ダムウエータの改修修繕
- ⑥居室網戸、フェンス等の改修取替
- ⑥介護記録等のシステム導入を検討
- ⑦介護ロボット等介護機器の導入を検討

2. ケアハウス桜花

- ①外壁改修工事
- ②電気使用量等集中監視装置更新
- ③電話設備・課金装置更新
- ④建物周辺地盤沈下への対応

《特別養護老人ホーム麻機園》

〔1〕基本方針

1. 利用者ご家族の要望に的確に応えられるよう、各職種間の連携を密にする。
2. 利用者への生活援助者としてふさわしい職員になるよう資質の向上に務める。
3. 職員体制等を整え、介護保険制度の定める条件を遵守して事業を行う。

〔2〕利用者処遇各職の目標

1. 相談員及び介護支援専門員

(目標1) 入所者がその人らしく安心して暮らせるような環境創りに努める。

・入所者の思いを聴く機会をつくる。

行事等で入所者が集まる時に、行事等について意見を聴き、記録として残す。

入所者個々に話を聴いた時には、記録を残しカンファレンス等に役立てる。

・家族の希望、意向を伺う機会をつくる。

年1回家族説明会を開催する。

面会時等、家族の希望や意向を聴いた時には、記録を残す。

・入所者の様子をご家族へ報告する機会を増やす。

・入所者、家族の意向をもとに、その人らしく自立した生活を目指す介護計画を作成する。

・入所者が必要としている車椅子やベッド等の物品を見直し、購入を検討する。

(目標2) 職員研修を行なう

・職員会議、介護職会議の機会に、職員研修を計画的に行なう。

・職員全員が参加できる研修会を開催する。

・職員の知りたいことを研修内容に組み込めるように、職員の意向を聞く機会を設ける。

(目標3) 入所率を98%以上に保つ。

・優先入所検討委員会を適宜開催する。

・入所申込者に「麻機園に入所したい」と思ってもらえるようにする。

施設見学の際に、麻機園の職員や入所者、施設の明るい雰囲気を感じてもらおう。入所に結びつかなかったとしても、麻機園は明るくて感じがよかったとイメージアップに繋がるようにする。

・他特養相談員、老健相談員、ケアマネジャー等との情報交換を行ない連携できるようにする。

(目標4) 職員が働きやすい環境にする。

・必要物品や修繕箇所を検討し改善する。

・移乗ロボット等を導入し介護職の負担軽減に努める。

(目標5) 各種マニュアルを見直し、改正する。

2. 介護職

(共通目標)

・手洗いうがいを励行し、感染予防に努める。

・担当居室内を整理整頓し、フロアの清潔を保つ。

・褥瘡の予防、早期改善に努める。

- ・申し送り、報連相を確実にやり、統一した介護を行う。
- ・ゆっくりと話を聴き、心地良いと感じてもらえるような言葉遣い、優しい口調で話す。
- ・離床後の布団の整理整頓、臥床後の衣類・車椅子・靴・膝掛け・カーテンを整える。
- ・入所者の身だしなみを整える。

(1階の目標)

- ・入所者に自分で出来ることの喜びを感じてもらえるように援助する。

(2階の目標)

- ・読み手が理解できる文章を書く。

(3階の目標)

- ・前年度より転倒事故や入所者の怪我等を一件でも減らすことに努める。

3. 看護職

“その人らしく、安心して快適な生活が出来るように健康面から援助する。”

(目標1) 生活を支える看護

- ・個々に応じた日常生活が営むことができるように、介護職と協力し合いながら看護援助を行なう。

(目標2) 感染予防と入所者の健康を維持するための看護対策

- ・他職種と協力を図り、入所者の体調変化に対応する。
- ・毎日の手洗い、うがい、建物の換気を実行するよう喚起し、感染予防に努め他職員にも啓発する。
- ・入所者の健康管理の年間計画を立案し実施する。

(目標3) 生活の延長上にある自然な看取りへの看護

- ・その人らしく穏やかな時間を過ごせる様な環境を作り、施設での生活が少しでも続けられるように看護援助をする。

4. 機能訓練指導員

(目標1) 入所者の残存機能の維持・向上を目指し、安全な生活が送れるよう訓練する。

- ・個々の残存機能を把握し、多職種と情報交換を密に行ない、個々に適した目標を設定し機能訓練に努める。
- ・個々の目標に向け、週に2回以上の個別機能訓練を実施する。
- ・普段の生活の中で出来ることを増やし、その人らしく自立した日常生活の維持、向上に努める。また生活の場に即した動作の訓練を行なう。
- ・自立した生活の援助として、安全に移動が出来るよう歩行器を導入したい。
- ・拘縮予防や褥瘡の発生を防ぐため、適切なポジショニングを行なう。そのためポジショニングクッション、介助グローブ、スライディングシートを導入したい。
- ・3ヶ月に一度、目標の評価・見直しを行ない入所者又は家族に進捗状況を説明する。

(目標2) 楽しんで生活してもらえるように援助する。

- ・集団機能訓練を1日1回30分間実施し、楽しさ、喜びを伴い、心身の健康や生活の質の向上に努める。

- ・季節を感じてもらうため、毎月季節のカレンダーの塗り絵を行ない居室に掲示する。また行事にちなんだ壁画作りを行なう。
- ・行事に積極的に参加しコミュニケーションをとる。また園外に出る機会を増やし日常生活を楽しんでもらえるように援助する。

5. 栄養・給食

(目標1) 安全で満足感を味わえるような食事を提供する。

- ・旬の食材を取り入れ、季節を感じられる献立や料理を充実させる。
- ・食べる会を複数回企画し、入所者の方々に喜んで頂ける食事を提供する。
- ・嗜好調査を年1回実施し、献立に反映させる。
- ・衛生管理を徹底し、食中毒防止・感染症対策に努める。
- ・デイサービス利用者とおやつ作りを月1回程度実施する。

(目標2) 栄養管理を徹底する。

- ・個々にあった栄養ケア計画書を作成し、定期的に見直しを行い、低栄養予防・改善を図る。
- ・食事摂取量が低下してきた方には、高カロリー食品を取り入れるなど対応していく。
- ・他職種との情報交換を密にし、利用者に適した食事サービスに努める。

(目標3) 災害時の給食体制を検討する。

- ・災害対応給食マニュアルを整備する。
- ・備蓄食品の管理・見直しを行い、期限が近い食品は、献立に取り入れる。

〔3〕 会議・研修

1. 会議の種類

(1) 全体

- ①職員会議 ②部門連絡会 ③在宅利用連絡会 ④厚生委員会 ⑤研修委員会
⑥広報委員会

(2) 麻機園

- ①優先入所検討委員会 ②入所判定会 ③介護職会議 ④リーダー会議 ⑤パート会議
⑥行事担当者会議 ⑦給食会議 ⑧安全委員会 ⑨衛生委員会 ⑩事故防止委員会
⑪感染症対策委員会 ⑫身体拘束廃止委員会 ⑬褥瘡予防委員会 ⑭食事委員会
⑮排泄委員会 ⑯入浴委員会 ⑰事故検討委員会 ⑱サービス検討会 ⑲マニュアル検討会

2. 在宅部門を含めた全体会議を主催し職員相互の連携を計るとともに、定期的に部門毎、職種毎の会議を開く。
3. 委員会や担当者会議を開催し、利用者処遇の向上や、効率的な介護体制作りに努める。
4. 研修会、研究会、講習会等へ積極的に参加し資質の向上に努めるとともに、出席した職員の報告会を行う。

〔4〕 地域交流等

1. ボランティア及び実習、体験学習等を受け入れるとともに、幼児や学生の訪問を受け交流する。
2. 新たなボランティアの受入れをすすめる。

〔5〕施設・設備

1. 建物及び付属設備等の老朽化に伴う必要な改修、修繕又は取替等を行う。
2. 利用者処遇の向上のため必要な住環境整備を行う。
3. 什器設備の適切な維持管理を行う。

〔6〕防災対策

1. 地震、火災時に備え、職員の防災に対する知識を向上させると共に、定期的に訓練を行い、設備の使用法の修得、避難誘導技術の向上を目指す。
2. 災害時のマニュアルの見直し及び体制を整備する。

〔7〕感染症対策

年間を通じて感染症に対して注意を払い、情報の収集に務めると共に、職員の感染症対策に対する知識を向上させる。

《ケアハウス桜花》

〔1〕基本方針

安全で安心な住みよい環境を提供し、健康的で充実した生活が送れるよう支援する。

〔2〕運営

（目標1）情報提供と営業活動で入居申込者を増やす。

- ・入居待機者を確保し年間入居率95%以上を目指す。
- ・居宅介護支援事業所をはじめ、地域包括支援センター、医療機関等の地域連携室等へ訪問し、施設の紹介、空き状況など情報発信する。
- ・地域連携担当と協働し、町内会、民生委員など地域に施設を知ってもらう機会を設ける。

（目標2）高齢者の特性に配慮した環境を整備する。

- ・必要な施設内外の修繕を行い、入居者が安全に暮らせる環境を整える。

（目標3）相談機能を充実させる。

- ・入居者からの相談に傾聴し、安心な生活が送れるように努める。
- ・地域住民や事業所などが相談しやすい環境を備える。

〔3〕入居者処遇

（目標1）健康で可能な限り自立した生活の場づくりをめざす。

- ・年に1回の健康診査、結核健康診断など受診できるよう情報提供し診断結果を把握する。
- ・服薬内容の把握、かかりつけ医との連携、適切な助言をして疾病予防に努める。
- ・必要に応じた介護保険サービスや施設サービスを円滑に利用できるよう提案する。
- ・感染症の早期予防に努める。
- ・入居者の健康、生活上の相談をしやすい環境を作る。

（目標2）残存機能の維持と余暇活動の援助を行う。

- ・ボランティアや地域住民を受け入れ、地域とのコミュニケーションの機会を作る。
- ・午後2時からの「にじサロン」を継続的に開催し、体操や脳トレなどで機能低下を予防する。
「でんでん体操」「ちゃきちゃき体操」の導入、余暇活動に使用する物品を整備する。
- ・喫茶の開催など毎月1回以上季節感のある行事を企画し、入居者間の交流の機会を設ける。
- ・地域で行われる祭りやイベントなどの情報を、入居者に向けて掲示、月刊紙で提供する。

〔4〕栄養・給食

（目標1）快適な食環境の整備に努め、安全で楽しみのもてる食事を提供する。

- ・季節の旬の素材や地元食材を取り入れ、四季の移り変わりを感じてもらう。
- ・歳時記に合わせた行事食等の充実を図り、飽きのこない食事を提供する。
- ・入居者個人の要望と嗜好を出来る限り考慮し、より満足していただける食事を提供する。
- ・年4回程度、食事会を行い普段と違った雰囲気の中での食事時間を楽しんでもらう。
- ・安全安心な食事提供のため、委託業者との情報交換・相互の提案を含めた連携を徹底する。
- ・季節の植物等を置くなどして季節の流れが感じ取れる空間を演出する。

（目標2）栄養管理を行い、食事面からの生活の維持・向上を目指す。

- ・健康診断結果を基に栄養状態を把握し、食事面からの健康維持・増進を図る。
- ・ポスター等の掲示物を活用し、入居者への健康・栄養に関する知識の普及に努める。

（目標3）災害時の給食体制を強化する。

- ・災害時給食マニュアルを作成する。
- ・備蓄食品の整備・点検を行う。
- ・炊き出し訓練を年1回実施する。そのために炊き出し器の導入を検討する。

〔5〕会議・研修

1. 在宅部門と連携を計り、入居者に関するサービス担当者会議等に参加する。
2. 職員の資質向上のため外部研修に参加する。
3. 入居者処遇、行事会議、給食等に関して会議を開催する。

（会議の種類） ①桜花会議 ②入居者処遇会議 ③給食会議

〔6〕施設設備

適切な建物・設備等の保守及び修繕を行い、安全で住みよい環境を整える。

→正面玄関インターロッキング、裏玄関段差の修繕を検討する。

〔7〕防災対策

1. 地震、火災など災害に備え、職員の防災知識、技術の向上をめざす。
2. 入居者向けに土砂災害など風水害の危険を周知する防災教育を行う。
2. 公助、共助をめざし消防、地域、隣接施設等との協力体制を築いていく。
3. 年2回、夜間発生の大規模地震および火災を想定した避難訓練を実施する。
4. 備蓄品（非常用食品、防災用物品など）を購入したい。

〔8〕感染症対策

入居者に対して感染症に対する情報提供を行うと共に、感染症対策に対する知識を向上させる。

《在宅サービス》

〔1〕麻機園ショートステイ

（目標1）年間を通して稼働率75パーセントを目指す

- ・各部署職員（相談員、看護師、介護職、栄養士等）との情報を密にすることにより、適切なサービスが提供できるように心掛ける。
- ・新規利用時は、できるだけ多くの情報の収集に努め、本人、家族、ケアマネジャーの意向に沿ったサービスが提供できるようにする。
- ・ケアマネジャーへ空床情報を提供することにより稼働率の向上を目指す。

（目標2）利用前に健康状態を把握する

- ・新規利用時又は状態変化時等に、家族及びケアマネジャーに敏速かつ的確に情報の提供を行い、安心して利用していただけるようにする。
- ・利用前の本人、家族等の健康状態を情報を収集し、施設内で情報を共有する。

（目標3）感染症対策

- ・施設内で感染症が発生した場合は、家族、ケアマネジャーに情報を提供し、予定利用の有無、利用期間の変更等を調整し、本人、家族、施設に負担なく、また感染症が広がらないようにする。

（目標4）緊急利用にもできる限り対応する。

- ・介護者の急変等で急にショート利用の必要性がでた時には、ケアマネジャーと連携をとりできる限りの情報収集し受け入れるようにする。

（目標5）ロングショートにもできる限り対応する。

- ・病院退院後、自宅に帰るのが難しく施設入所までも時間がかかる場合等はロングショートとし施設入所までの家族の負担を軽減するように努める。

〔2〕麻機園デイサービスセンター

（目標）「新規利用者10人獲得をめざす」

- ・営業活動に必要なアイテムを用意する。麻機園デイサービスの活動の様子がわかるカラーのチラシ等、営業相手に印象に残るアイテムを作成し営業活動を行う。
- ・栄養士と協力し、毎月利用者と共におやつ作りを行う。
- ・男性利用者向けの活動プログラムを開発する。
- ・本利用開始前の利用を検討する。

〔3〕麻機園ヘルパーステーション

（目標1）住み慣れた家で安心して生活ができるよう支援する。

- ・利用者の「できること」を伸ばす関りをする。
- ・利用者の心地よい「場」づくりをする。
- ・「目配り」「観察力」を養い、利用者や家族を把握する。
- ・職員の知識・技術向上の機会を持ち、ニーズに的確に対応できるようにする。

(目標2) 利用者・稼働率をあげる。

- ・利用者35人、毎月稼働率60%を目指す。
- ・居宅介護支援事業所への報告(情報・対応)は的確に密に行い連携を図る。
- ・地域の集会や会合に参加して、訪問介護を紹介する。

[4] 麻機園ケアプランサービス

(目標1) 利用者の多様なニーズに対応し、医療、他職種との連携や地域資源の活用をしながら自立支援を行う。

- ・利用者の多様なニーズに対応するため、研修に参加する等により自己研摩に努め、制度改正時等情報収集を行うと共に最新の情報を収集する。
- ・医療や他職種との連携を密にし、情報を共有する。
- ・地域資源を把握し、多様なサービスを提案する。
- ・利用者および家族の本音を聞き出せるような関係作りに努める。
- ・利用者の思いが達成できるようなサービス計画を作成する。

(目標2) 総合事業への対応

- ・今後要介護者の総合事業利用に備え、介護予防ソフトの導入検討し、請求事務の効率化を目指す。
- ・介護予防が重要視されてきており、また介護相談も行っているため要支援者が増加傾向にあるため、システムの導入を検討し、迅速な対応に備える。